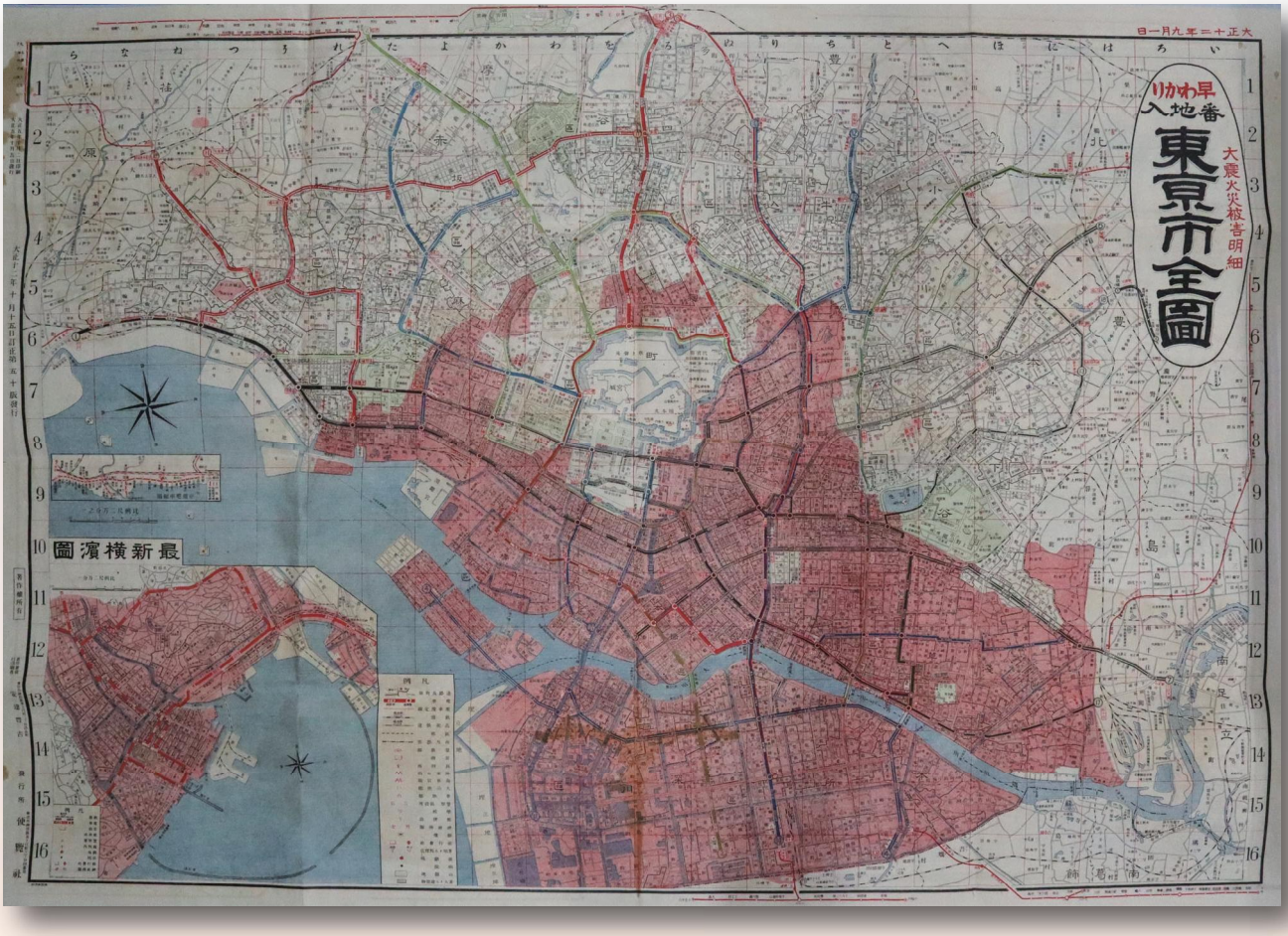
関東大震災からの復興と公園



早わかり番地入り　東京地全図　大正大震火災被害明細　大正 12 年（1923）　請求番号：安公民館 -001

大正12年(1923)９月１日に関東大震災が発生し、東京も甚大な被害を受けました。その後の復興事業における重要な課題の一つが、非常時に防火や避難の機能を果たす公園の整備でした。その結果、復興事業完了後の東京には、３か所の大公園(隅田・錦糸・浜町)と52か所の小公園が開設されました。

これらの公園は、地図で赤く示された被害の大きな地域、すなわち東京東部を中心に整備されました。震災を契機として公園の防災上の役割が広く認識されるようになり、復興事業における公園整備が進められました。